

<b>科目名</b>	技術者倫理			<b>英文表記</b>	Engineering Ethics		22年4月 12日
<b>教員名</b> ：大石敏広、真鍋幸男、吉永文雄、知念幸勇、正木忠勝、鈴木大作、平山けい、池松真也							修正
<b>対象学科</b>	全学科			<b>学年</b>	5年	<b>必・選</b>	必修
				<b>履修・学修</b>	学修	<b>単位数</b>	1単位
						<b>授業形態</b>	講義
						<b>授業期間</b>	半期
<b>目 標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会に対する技術者の責任・義務について説明できる。</li> <li>・ 倫理的問題を多面から分析し、複数の可能な解決策を考えることができる。</li> <li>・ グローバルな視点で技術者の倫理観を考えられる。</li> </ul>						
<b>高 専 目 標</b>	1	2	3	4	<b>JABEE プログラム名称</b>	全プログラム	
					<b>JABEE プログラム教育目標</b>	機械：A-1,B-4,C-1,C-2 情報：A-1,C-2 メディア：C-1,C-2 生物：B-4,C-1	
<b>授 業 概 要、 方 針、 履 修 上 の 注 意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代倫理学の知見を参考にしつつ、技術者倫理の基礎についての知識を与える。</li> <li>・ 事例研究として、ビデオなどの教材を使って現実に起こっている現象を見ながら、実践的問題に取り組む力を養成する。</li> </ul>						
<b>評 価 方 法</b>	評価方法 レポート、グループワークによって評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義 1 - 5、14, 15 が 40 パーセント</li> <li>・ 残りの分(計 8 回)が 60 パーセント(各学科 15 パーセント)</li> </ul>						
<b>教科書・教材</b>	パワーポイント、教員自作の教材						
<b>参 考 図 書</b>	『技術者倫理の世界』(森北出版)、日本の企業倫理(白桃書房)『技術とコンプライアンス - 規制法令と倫理のガイドライン』(丸善)、C・ウィットベック『技術倫理 1』(みすず書房)						

### 授 業 計 画

授 業 項 目	時 間	授 業 内 容
1. 導入	2	講義全体の説明、技術者倫理とは何か
2. なぜ技術者倫理か	2	倫理的責任を負う理由
3. 技術者倫理と設計思想	2	技術者倫理における設計という視点
4. 倫理的問題の解決法	2	倫理的問題をどう解決するか、線引き法など
5. 内部告発の問題	2	内部告発とは何か
6. 機械関係の事例(1)	2	コンプライアンス・規制法令に関する事例の研究
7. 機械関係の事例(2)	2	組織とエンジニアの関係
8. 技術者倫理とグローバル IT	2	世界的な IT の動きと技術者の役割について
9. 技術者と IT 社会	2	IT 経済の功罪と社会的な取り組みについて考える
10. 技術者として守るべき事(1)	2	開発過程での事例 1 に基づいて倫理について考える
11. 技術者として守るべき事(2)	2	開発過程での事例 2 に基づいて倫理について考える
12. 生物系(食品・医療・化学)現場の事例	2	科学成果の社会への還元例と事件事例の分析・議論
13. 先端科学における研究者の倫理	2	研究データの扱いや論文捏造などについて
14. 課題	2	これまでの講義をふまえた課題に取り組む
15. 課題	2	これまでの講義をふまえた課題に取り組む
<b>学習時間合計</b>	<b>30</b>	<b>実時間</b>
		<b>12.5</b>

学修単位における自学自習時間の保証(レポート頻度など)  
 授業の予習、課題レポートにより、自学自習時間を保証する。